


目指す子供像: 『かがやく北山っ子』



学校経営目標

笑顔と信頼と誇りのある学校

国の教育方針
 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
 ～全ての子供たちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現～
 静岡県の教育の基本理念
 「有徳の人」の育成 ～誰一人取り残さない教育の実現～
 富士宮市の教育指針
 「富士山を心に、夢をもって生きる子ども」の育成

学校教育目標 自ら学び、人との関わりを大切にして、未来を切り拓く子

P 何ができるようになるか (身に付けたい資質・能力)

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
自立 自ら学ぶ力 自分の力で課題を解決する子	共生 自ら関わる力 他者と協働して課題を解決する子	創造 自ら高める力 よりよい未来を創り出す子
責任ある行動をとる力	対立やジレンマを克服する力	新たな価値を創造する力
FOR 2030 変革を起こす力		

D どのように学ぶか・何を学ぶか

D 主体的、対話的で深い学び
 デジタルとリアルの組み合わせによる「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実

<ul style="list-style-type: none"> ○「読解力・語彙力」の育成 ・音読上手を育てる ・俳句を詠むことで語感を育てる ・読書の質を向上させる ○「問いを持ち追究する力」の育成 ・きたやま学習を充実させる ・「なぜ」「どうしたら」を考える学習課題を設定する ・多様な追究方法を身に付ける ○「一人学びできる力」の育成 ・誰一人取り残さない特別支援を充実させる ・家庭学習の習慣を定着させる ○「ICT活用力」の育成 ・低…操作できる ・中…考えを入力できる ・高…工夫できる を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ○「多様性を認める心」の育成 ・1組と3・4・5組の交流を活発にする ・縦割り班活動で異学年交流する ・道徳で多面的・多角的に考える ○「協働性」の育成 ・協働的な学びを実現する授業と活動を設定する ・話し合い活動で折り合いの付け方を学ぶ ○「コミュニケーション力」の育成 ・授業の中で活発に対話をする ・山宮小とオンライン交流する ○「グローバルな視野」の育成 ・SDGsに取り組む必要性を学ぶ ・エコ活動・支援活動に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ○「主体性」の育成 ・子供がイベントを企画・運営する ・好きなことにとことん取り組み「博士」「名人」をめざす ・ボランティア活動や朝運動を奨励する ○「創造性」の育成 ・当番活動ではない工夫した係活動・委員会活動にする ・創作活動に力を入れる ○「粘り強さ」の育成 ・めあて・目標を設定し、達成度を自己評価する ・新体カテスト表彰を目指す ○「自己調整力」の育成 ・身に付いた力を振り返り学習を調整する ・生活時間を自己管理する
---	---	---

A 改善



C 何が身に付いたか 数字はABCD評価のA+Bの%

自ら学ぶ力は身に付いたか	90	自ら関わる力は身に付いたか	90	自ら高める力は身に付いたか	90
自分の力で課題を解決できたか	90	他者と協働して課題を解決できたか	90	よりよい未来に踏み出せたか	90
教育目標は達成できたか		90	学校経営目標は達成できたか		

○月ごとの生活目標の設定と振り返り ○行事ごとの目標の設定と振り返り ○児童、保護者、教職員、学期毎の学校評価

学校だより・学年だより・HP・連絡メール
LEBER、授業参観、教育相談など

学校だより回覧・HP・教育の日(学校公開)
卒業生一日先生の日、ゲストティーチャーなど

3校合同研修会、富士山学習発表交流会、オンライン交流など

PTA
家庭
 ◇望ましい生活習慣の確立を！
 ・早寝・早起き・朝ごはんの支援
 ・3色そろった食事の提供
 ・家庭学習の見届け
 ・メディアコントロールやエコ活動等への協力

地域
 ○学校行事に地域の方を招待
 ○子供の地域防災訓練への参加
 ○きたやまサポートクラブの協力(地域学校協働本部事業)
 ○青少年育成連絡会・学校評議員会

北山中学校区
 ○小小連携・小中連携
 ○9年間で育む資質・能力の共有
 ○各部会小中合同開催、参観と交流
北山保育園
 ○園児との交流(体験入学等)